

スイス デジタルガバナメント戦略 1月

VE センター

1. 背景

・基本データ([JETROデータ](#))

国土: 4.1 万平方キロメートル(九州と同じくらい)

人口: 854 万人(2018 年、スイス連邦統計庁)

政治体制: 連邦共和制(20 の州(カントン)及び 6 の準州により構成される)

一人当たりの名目GDP: 83,162 米ドル(2018 年、IMF 推計)

GDP(名目): 715.4(10 億ドル)(2019 年、日本)

2.5%(2018 年、スイス連邦統計庁)

・[国連の世界幸福度ランキング 2020](#): 3 位

・[早稲田大学世界電子政府進捗度ランキング: 2018\(12 位\)](#)

・[OECD Open Government Data 2019](#): 31 位

・[Global Competitiveness Index 4.0 \(World Economic Forum\)](#) 2018 (4 位)

: ウイルス死亡数

スイス ウイルス死亡数 2020.6.28(現在): 100 万人当たり(226 人): 世界で 1 位

[COVID-19 Dashboard by the Center for Systems Science and Engineering \(CSSE\) at Johns Hopkins University](#) (2020.12.9)

「優等生」スイスは人命より経済優先 コロナ第 2 波

スイスは新型コロナウイルス感染が急拡大しており、このままいけばヨーロッパで一番の感染拡大地域になる勢いだ。人口比の感染者数はすでにスウェーデンやアメリカの約 3 倍、欧州連合(EU) 諸国平均の 2 倍に達している。それも検査数が特別多い訳ではなく、検査普及率はアメリカやヨーロッパ諸国の平均と同程度だ。そのなかで検査の陽性率は 27.9%と、スウェーデン(8.5%)やアメリカ(8.3%)を大きく上回る。世界保健機関(WHO)によれば、検査陽性率が 5%を超えているのはウイルスを制御できていない証拠だ。

2. 戦略 1. デジタルデータ体制づくり 2016.4

Digital Switzerland Strategy

・この戦略は2年に一度改訂する。

1) ビジョン

スイスに住むすべての人がデジタル・トランスフォーメーション(DX)のメリットを享受できるようにする。

2) 戦略目的: 図 1 に示す

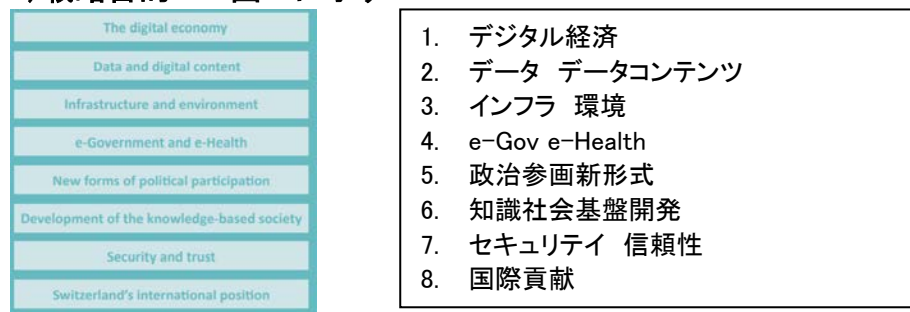


図 1 戦略目的

3) 戦略目標

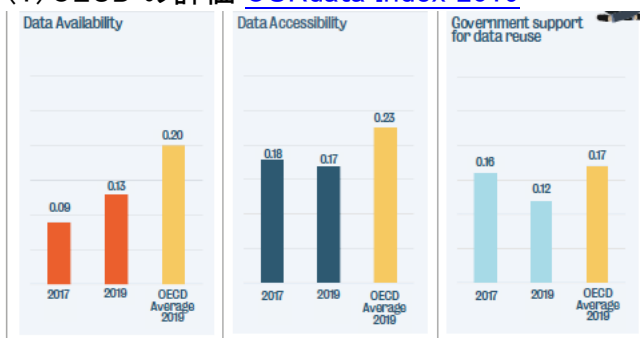
1. 教育分野、研究、イノベーションにおけるデジタル化の機会を最大限に活用するための適切なフレームワーク条件の整備をする(教育、研究、イノベーション)。

2. 信頼性が高く、国際的に競争力のある手頃な価格の通信インフラを構築する。(インフラ)
3. デジタル化の枠組みの中で、重要なインフラ自体を長持ちさせるための鍵となる、レジリエンスの高い設計と保護システムを構築する。(セキュリティ)
4. デジタル化による環境、資源、エネルギーなどの資源消費の最適化をする(環境、資源、エネルギー)
5. 公共サービスをデジタル化し国民の政治参加を促進し、民主主義を強化する(政治参加、電子政府)。
6. デジタルビジネスモデルや、財政の持続可能性と公益に貢献する革新的なイノベーションに最も有利な枠組み条件を作り出す(デジタル経済)。
7. 知識社会とAIに高品質のデータを提供する(Data, digital content, AI)
8. 社会・医療・文化のデジタル製品やサービスへのバリアフリーかつ無差別のアクセスが保証する制度を構築する(社会、医療、文化)。
9. [外交政策戦略\(FPS\) 2020-23](#)において、デジタル化を4つのテーマ別優先事項の1つとして初めて定義した(国際的なコミットメント)。

4) 戦略評価: 2019

: デジタルガバナメント体制づくりの評価(OECD、UN)

(1) OECD の評価 [OURdata Index 2019](#)



OECD の評価ではデータのアクセス、入手、政府の支援のどの3項目も平均値以下である。

(2) EC の評価 [Digital Government Factsheet 2019](#)

EC の e-Gov の進捗状況を示す指標はすべて平均値以下である。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 利用者中心 | 82 (平均値 92) |
| 2. 透明性 | 59 (平均値 78) |
| 3. 市民国境移動性 | 48 (平均値 69) |
| 4. 企業国境移動性 | 61 (平均値 64) |
| 5. オンライン技術前提条件 | 54 (平均値 85) |

3) 戦略 3: オープンデータの活用体制構築 2019-2023

[Open Government Data strategy 2019-2023](#)

2019 年から 2023 年までの[スイスにおけるオープンガバナメントデータ戦略](#)

が 2018 年 11 月 30 日に、[連邦議会\(FC\)](#)で承認された。その目的は、連邦政府のすべてのオープンデータを [opendata.swiss](#) ポータルで公開することである。公開された政府データの公開は、社会のあらゆる分野における透明性、参加、革新を強化する。連邦政府機関は、この原則を持続的かつ統合的に適用するために、[opendata.swiss](#) 上で徐々にデー

データを公開していく。これらのデータは、コンピュータで読める形式で無料で利用できるようにする。

その他の既存のデータも徐々に一般に公開される予定である。(例:カントン(郡)、コミュニティ(公共団体)、市、地方自治体のデータ)。

この原則は、データ保護上の理由など、正当で重要な理由が存在する場合には適用されない。

戦略目的

1. データの協調的な公開を促進する
2. データとその品質を保証する。
3. 集中型データサイト opendata.swiss の運用を継続する。
4. 公式データの中央登録簿を作成し、利用する。
5. データの利用を促す。

以下は 2020 年度の重点項目である。

1. Open Government Data(OGD)の認知度向上と更なる研修を行うため様々なコミュニケーション施策を実施する。
2. OGD の原則がどのように既存の法的基盤に組み込まれているかを検証する。
3. データ公開の優先順位付けと調整は、様々なデータ分野によって組織化する。
4. OGD の原則が連邦政府のさまざまな基本文書に導入されていることを検証する。
5. OGD のシンプルで透明性のある管理は、データ提供を法的・技術的な OGD 要件と比較するために、戦略実施における重要な手段として開発する。
6. データの公開が必要に見合ったものになるように、連邦政府のあらゆるレベルのデータ発行者と、関係する第三者やデータ利用者を集めたラウンドテーブル形式を導入し、拡張する。
7. OECD、EU、G8 の公開スケジュールと勧告は、スイスの状況に照らし合わせて分析し、OGD の優先順位づけと opendata.swiss ポータルのさらなる発展のために、提案する。
8. これまでの目録(2015 年と 2017 年)に基づき、行政機関単位との調整を行いながら、2020 年中に連邦政府のデータ目録を開発し、試験的に実施する。
9. オープンな(政府の)データコミュニティを発展させるための優先的な対策を定義し、実施する。これは様々な方法で行う。内部対策(例:教育訓練の実施、内部の専門家の交流)と外部対策(例:ハックデイの実施、大学との協力)の両方を含む。

4)戦略 4:AI戦略 2019

AI 戦略 [SATW-Swiss AI Strategy](#)

DX は私たちの社会のほぼすべての面を根本的に変えようとしている。

人工知能(AI)とビッグデータ分析アプリケーションの爆発的な増加は、高速ネットワークで接続された現代の高度に分散されたコンピューティングインフラの実質的な計算能力と組み合わせたデータの可用性の高さによって可能になっている。

機械学習技術は、特定のタスクを効率的かつ正確に実行するように訓練することができ、それによって人間のタスクを補完したり、場合によっては人間のタスクを上回ることができる。これらのシステムは、データやユーザーとのインタラクションから学習することで深い洞察を提供しており、すでに多くの産業、専門職、社会全体に大きな変革をもたらしている。しかし、AI の現状は、人間の知能に匹敵する真の知能行動を提供するにはまだまだ程遠い。したがって、AI 研究戦略は、大きな約束と概念的な欠点の多様な波がある AI の歴史を慎重に分析する必要がある。

近年の機械学習の進歩により、AI 技術は非常に成功を収めている。音声認識、機械との自然言語インタラクション、ディープラーニングに基づく顔認識は、今や人と人との関わり方を変えるコモ

ディティとなっている。人間の経験から学習して人間のパフォーマンスをエミュレートする機械学習戦略は、知識抽出問題の解決を約束する。

1. データの安全な港をつくる。
2. グローバルな AI 依存のデジタル社会における現状とスイスの未来を構想する。
3. AI への人間の信頼を高める、野心的だが必要な目標である。
4. 高等教育における AI を整備する、核となる研究テーマである。
5. 中小企業の AI 化を実現する。
 - ・適切な環境を作る
 - ・中小企業の AI 化を実現するための具体的な提言を行う

5) 戦略 5: 5G 戦略-AI との共生づくり 2020.10

[5G COUNTRY PROFILE](#) ITU

“周波数は 15 年間割り当てられ、事業者にはネットワークを開発するための長期的な計画的なセキュリティを与える。競売の結果は、連邦行政裁判所の前で争われる決定に記録されている”と [コムコム](#) は述べている。

“周波数の授与は、スイスのデジタル化にとって重要な意味を持ち、連邦理事会の「[デジタル・スイス](#)」戦略に沿ったものである。

強力なモバイル通信に加えて、5G は将来、モノのインターネット、医療アプリケーション (eHealth)、画像処理アプリケーション (仮想現実、拡張現実)、または自動運転車など、多くの新しい用途を可能にする。スイスは、すでにネットワーク事業者に 5G 周波数を提供しているヨーロッパで最初の国の一つである。

2020 年 10 月現在、スイスは 5G 開発のための国家戦略を持っていないが、新ネットワークの展開では欧州のパイオニア的存在であり続ける。

6) 戦略 6. 緊急事態対応 (Covid-19 対応) 2020.9.11

[digitalswitzerland](#)



#Covid19
Five
Opportunities
for the Digital
Transformation
in Switzerland

[デジタルスイスの新しい優先事項](#)

ベルン、2020 年 9 月 11 日-データと環境の側面は、将来、連合会議のデジタル政策において、より重要視されることになっている。これを可能にするために、2020 年 9 月 11 日、[連邦参事会](#) は更新された「[Digital Switzerland](#)」戦略を採用した。また、Covid-19 パンデミックなどの危機的状況において国が機能するためのデジタル化の重要性についても考慮されており、デジタル政策への影響を詳細に分析する必要がある。

「[Digital Switzerland](#)」戦略は、デジタル化に関する政府の行動のガイドラインを提供し、連邦政府を拘束する。また、経済、科学、市民社会など、デジタルスイスの他の利害関係者のためのオリエンテーションフレームワークとしても機能する。したがって、戦略の

継続的な開発は、彼らと協力して実施される。[連邦参事会](#)は、今後2年間、次の優先事項を定めた。

- 1.環境の保護:新しいテクノロジーは、これまで以上に正確な環境データへのアクセスを通じて、環境政策のさらなる開発を可能する。気候と環境の保護のためにデジタル化を最適に利用するために、2021年の終わりまでに、[連邦環境局\(FOEN\)](#)は、生態学的サイクル評価、エネルギー消費、およびフットプリントの計算の基礎をどのように改善できるかを示す。ICT技術とサービスの分野。
- 2.データスペース:共有データは、データを本来の意図された目的を超えて用できるようにし、新しい共有使用システムを作成することで、付加価値を生み出す。したがって、スイスは、人々、企業、公共部門の信頼できるデータスペースへのアクセスを促進する必要があります。この目的のために、2021年の終わりまでに、[連邦通信局\(OFCOM\)](#)と[FDFAの国際法局](#)は、他の参加者とともに、州の行動が必要な場所を示す基本的な報告書を作成する。
- 3.デジタル経済:2022年末までに、[国家経済事務局\(SECO\)](#)は「デジタル経済の枠組み条件」レポートを更新する。共有経済、デジタルファイナンス、研究開発、貿易関係のテーマに特別な注意が払われる。競争政策。
- 4 デジタル公共サービス:[連邦通信局\(OFCOM\)](#)は、連邦政府の他の機関と協力して、2022年半ばまでに規制対象のネットワークセクターにおけるデータ主導の開発に関するレポートを作成する。考慮事項は、規制の新たな必要性があるかどうか、および新しいデータベースのインフラストラクチャの可能な構築と運用における連合の役割は何かという問題である。
- 5.Covid-19 パンデミックの影響:デジタルアプリケーションは、スイスがCovid-19 パンデミックの間も機能し続けていることを保証する上で重要な役割を果たしてきた。同時に、デジタル化のさまざまな分野で弱点が明らかになっている。スイスが同等の将来の状況に備えるために、2021年末までに、[連邦通信局\(OFCOM\)](#)と[連邦首相府\(FC\)](#)は報告書の改善の可能性を示し、連合のデジタル政策の対策を提案する予定である。すべての部門と[連邦首相府\(FC\)](#)の分析がレポートに組み込まれる。

連邦政府におけるデジタル化とICT管理の再編成、およびデジタル変革とICT管理に関する連邦評議会を取りまとめて2年以内に[Digital Administration Switzerland\(デジタル庁\)](#)を創設する。